

# PRODUCT PROP

## mizu-Q<sup>®</sup> 2000

災害時の水の確保、  
考えたことが  
ありますか？

### ■災害対策用浄水器とは・・・

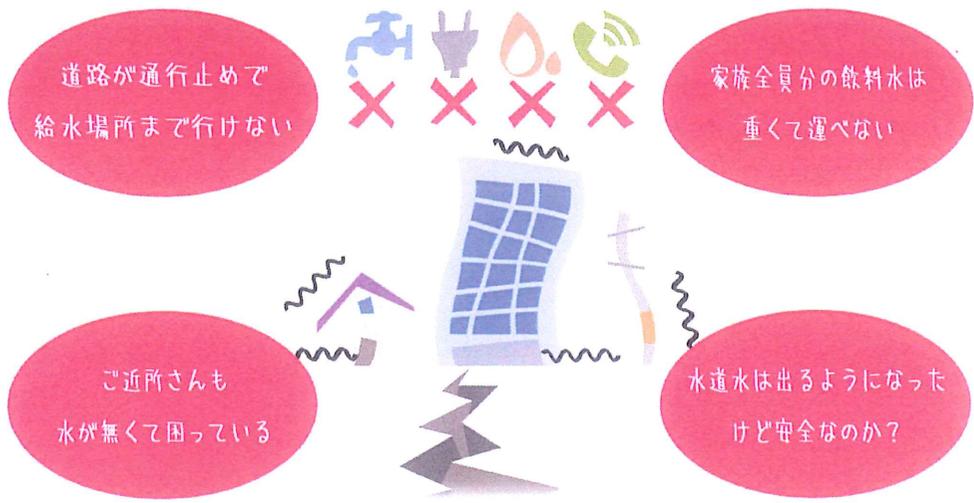
一般的に普及している家庭用浄水器は蛇口から出る水道水を浄化する（カルキや塩素などを浄水）ことを目的としています。対して災害用浄水器は身近にある水源から飲料水を作る装置を意味します。

#### 災害発生

地震や異常気象による災害のリスクは常に私たちの身近にあります。  
災害によりライフライン（電気、ガス、水道）が寸断してしまったら、  
あなたは自分や家族をどうやって守りますか？

#### 復旧・支援

災害発生からライフラインが完全に復旧するまでは数か月の期間を要します。  
特に発生から水や食料などの公的支援を受けられるまでは最短でも3日。  
交通事情の悪い過疎地や人口が密集する都市部などでは、支援が行き届かない  
事態も想定されます。



✔ そんなとき我々の命をつなぐ飲料水を作り出してくれるのが災害対策用浄水器です。

# mizu-Q<sup>®</sup> 2000

## ■特徴

パワフルなエンジンポンプと給水効率の良い手動式ウイングポンプの2つを搭載し、災害時にガソリンが手に入らない状況でも、手で飲料水をつくることができます。4筒式高精度フィルターを採用し1時間あたり最大1トンの給水性能を発揮します。4筒式浄化システムのサードフィルター（0.2μm）はメンブレン（精密ろ過膜）の除去機能に加え「静電吸着機能」により定格ろ過以上の異物を除去できます。さらにファイナルフィルター（活性炭ろ過筒）は銀添着活性炭を使用し、プール水の塩素の除去、濁りや臭気、発ガン性物質のトリハロメタン等の有機物質も除去すると共に、銀の働きによって有機微生物を滅菌し、2次側からの菌の発生を防ぐこともできます。災害時に近隣の飲料水を確保できる給水量と安全性を兼ね備えています。

## ■操作手順

### <エンジンポンプ使用の場合>

1. エンジンポンプにガソリンとオイルを入れてください。
2. 切り替えコックを「エンジンポンプ」にしてください。
3. 吸水ホースを取り出し、水源に入れます。
4. エンジンのスイッチをONにし、スターターロープを引いて始動してください ※詳しくは取扱説明書でご確認ください
5. 給水量を多くしたいときはエンジン回転レバーで調整します。
6. 止めるときはエンジン回転レバーを戻し、エンジンスイッチをOFFで停止します。
7. 飲料水として飲む際は、10秒以上通水してからお飲みください。

### <ウイングポンプ使用の場合>

1. 前面カバーを取りウイングポンプにハンドルを差し込みます。
2. 切り替えコックを「手動ウイングポンプ」にしてください。
3. 吸水ホースを取り出し、水源に入れます。
4. ウイングポンプのハンドルを左右に動かします。
5. ポンプまで水位が上がるとハンドルが重くなりますが、毎秒1ストローク程度で操作してください。
6. しばらくすると給水口から水が出ます。
7. 飲料水として使用する際は10秒以上通水してからお飲みください。

### ※注意

- ・最初に通水した数リットルからは空気や黒い粒子が出ます。無害ですが捨ててください。
- ・吸水ホース設置時、水源に転落しない様充分にご注意ください。
- ・ゴミ・葉などで吸水ホース先端のストレーナ部が目詰まりをしない水源を選定して下さい。

### ⚠警告

誤った取り扱いを行うと有害物質が混入した飲料水となり、人体に危害を与える危険が想定されます。

- 01 エンジン
- 02 手動式
- 03 高性能フィルター
- 04 高い給水能力



(水道法水質基準に適合)

## ■各部の名称

- A: 吸水ホース (先端部: ストレーナ)
- B: エンジンポンプ
- C: ウイングポンプハンドル
- D: ウイングポンプ
- E: ファーストフィルター
- F: セカンドフィルター
- G: サードフィルター
- H: ファイナルフィルター
- I: 浄化水給水口
- J: 切り替えコック

## ■利用原水の選定

災害対策浄水器の原水を選ぶ際は、できる限り安全性の高い水を選んでください。最も安全な原水は水道水として貯蓄されている水です。

### ◎ 原水に使用できる水

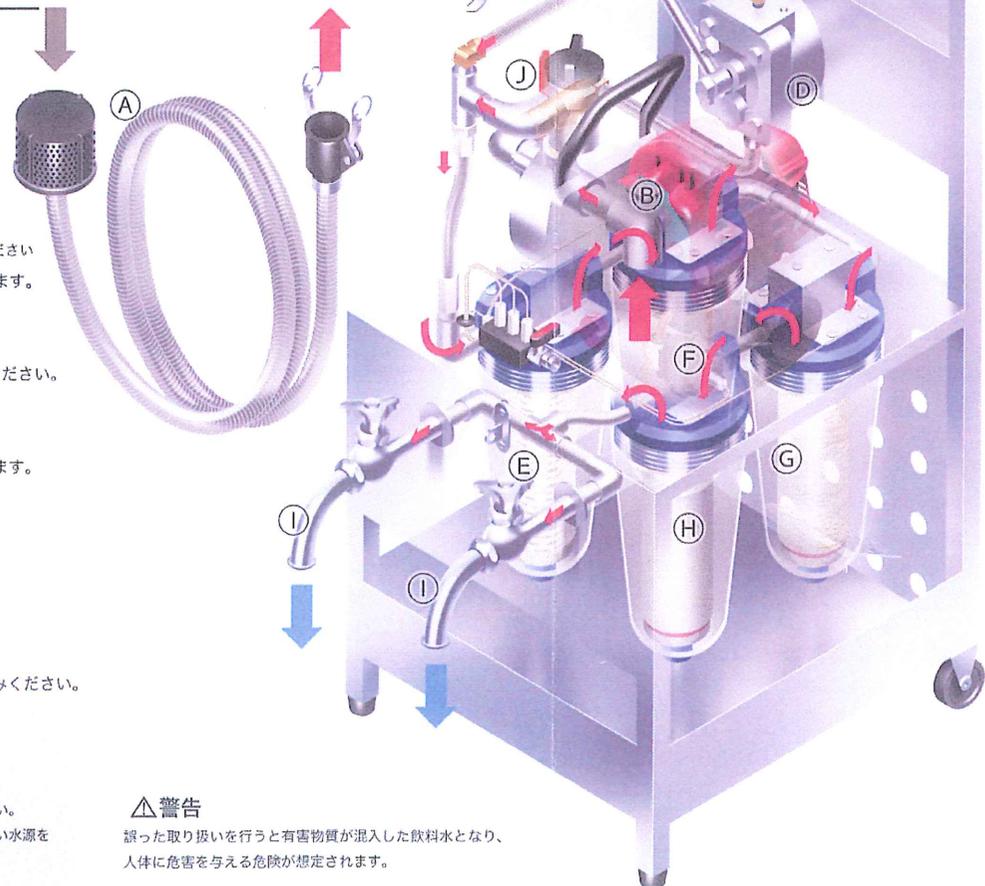
- ① 飲料水兼用耐震性防火水槽
- ② 地下受水槽・高架水槽
- ③ プール水・人工噴水池
- ④ 防火用井戸水・井戸
- ⑤ 河川水・池・風呂の水

※④⑤を原水に用いる場合は注意が必要です。

### ✕ 危険: 原水に使用できない水

- ・魚が生息できない水
- ・毒物・有害物質を含んでいる水
- ・海水または海水の混入の恐れがあるもの
- ・高濃度に汚染された原水や水以外の通水

※災害時には河川や池・地下水の隣接工場などから有害物質や有害物質の流入が考えられます。選定には十分にご注意ください。



# mizu-Q2000 フィルター (複合4筒式)

## ■フィルター性能

mizu-Q シリーズの高性能フィルターはほとんどの異物、一般細菌を取り除き安全な飲料水をつくります。

### 1st フィルター (1μ孔径除濁フィルター)

主に水源中の濁りの原因である異物を浄化します。

### 2nd フィルター (1μ孔径除菌フィルター)

水源中の一般細菌を浄化します。

### 3rd フィルター (0.2μメンブレンフィルター)

医療用などにも使われるメンブレンフィルターに静電吸着機能をプラス。

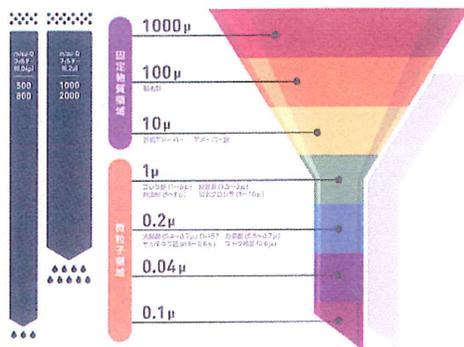
定格を超以上の異物をキャッチします。

### Fin フィルター (特殊活性炭過フィルター)

銀添着活性炭はコーラルサンド (サンゴ) と銀を組み合わせたフィルター。塩素の除去、濁りや臭気、トリハロメタン等の有機物も除去します。また銀の抗菌作用により、給水口からの菌の発生を防ぎます。



mizu-Qシリーズフィルター精度表



## ■装置の保管方法

### 【翌日に使用する場合】

吸水ホースを収納部に巻込み、収納カバーを被せて保管してください。

※冬季及び寒冷地では凍結する恐れがありますので、必ず水を抜き本装置を凍結させないように

充分にご注意ください。

### 【長期保管】

使用后、給水口から水が出なくなるまでポンプを稼働して配管及びフィルターハウジング内の水を抜きます。高温になる場所や直射日光の当たる場所を避けて保管して下さい。

※保管時、細菌の繁殖を防ぐため残水を抜いてから、再び市販の次亜塩素酸ナトリウムを含む

消毒液等を入れた水を通して保管するのをお勧め致します。

### 【長期保管後の使用】

長期保管後、再度ご使用になられる際は、新しいフィルターでのご使用をお勧め致します。

再稼働の際は必ず最初に3ℓ程度通水させてから飲用してください。



## 安心のメーカー長期保証&アフターサービス

### 製品の保証について

本製品はいつ起こるかわからない災害に備えるため、長期間の保管を想定した保証を充実させています。消耗品を除くほとんどの部品を対象とする一般保証と製品の基本動作で重要な機能を果たす部品についてはより長い期間を保証する特別保証 (メーカー動作保証) があります。

※詳しい内容、各保証の条件につきましては付属の「製品保証書」をご確認ください

## 1年間

一般保証▶納入日から

フィルターを含む全部品が保証対象となります。保証の条件に当てはまる場合には1年間無料で修理を受けられます。

特別保証▶納入日から

ポンプや配管など、浄水動作に関わる重要な部品は保証の条件に当てはまる場合には特別保証として7年間無料で修理を受けられます。

## 7年間

### メンテナンスについて

- 当製品の納入会社 (販売代理店または製造メーカー) が有料でメンテナンスを行います。ご希望の際は保証書に記載された販売代理店または製造メーカーにご相談ください
- ポンプ動作チェック・フィルターハウジング及び配管漏水チェック・フィルター交換・流量チェック・その他 ※各費用についてはご依頼時お見積もりさせていただきます

## ■仕様

・型式	mizu-Q 2000
・処理能力	1.0 m <sup>3</sup> / hr (MAX)
・る材	
ファーストフィルター	ポリプロピレン除菌 (孔径1μ)
セカンドフィルター	ポリプロピレン除菌 (孔径1μ)
サードフィルター	ポリプロピレン除菌 (孔径0.2μ)
ファイナルフィルター	特殊活性炭過
・ポンプ	
	エンジン：エ進ポンプ KH-25
	アルミ製ウィングポンプ
・重量 約	約 32.5 kg (空重量)
・外形寸法 (mm)	W420×D400×H950
・吸水ホース	3m
・総ろ過能力	10~15t
	(供給水の濁度により変化します)
・性能評価	フィルター性能表を参照
・メーカー希望小売価格	750,000円 (税別)
専用交換フィルターセット	94,500円 (税別)



本体：ポリカーボネイト  
架台・カバー：ステンレスヘアライン仕上げ

## 製造元 株式会社かりはな製作所

〒201-0012 東京都狛江市中和泉 3-28-1 TEL: 03 (3489) 5211 / FAX: 03 (3489) 7733

ウェブサイト <http://www.karihana.com>

## 販売会社

エース技研 株式会社  
〒259-1135 神奈川県伊勢原市岡崎6498-1  
TEL: 0463-97-4130 FAX: 0463-97-4140